

# 「石狩湾系ニシン」令和元年度（2019年度）漁期まとめ

令和2年5月26日

北海道立総合研究機構 中央水産試験場資源管理部

昨秋から今冬にかけて漁獲対象となった、「石狩湾系ニシン」産卵来遊群の漁獲状況や資源状態について、漁期中の調査結果に基づき取りまとめました。

## 1. 漁獲状況について（図1）※2019年度の漁獲量は道庁発表値と水試独自集計に基づく暫定値。

昨秋から4月末まで（2019年度漁期）の石狩湾系ニシンの漁獲量は3,264トン（前年度比1.65倍）であり、2000年度以降では過去最高値となりました（図1）。（ただし、集計値には、4月の留萌管内の漁獲量も含まれますが、これについては石狩湾系かどうかを分析中です。）小樽市など後志沿岸、石狩沿岸、および沖合域での混獲（沖底、えびこぎ、沖刺し）においては、いずれも前年を上回る漁獲となったほか、特に留萌・宗谷沿岸においては前年から大きく増加しました。

## 2. 魚体について（図2、3）

漁獲物の年齢組成（後志・石狩沿岸）は5年魚（2015年級）が47%、4年魚（2016年級）が37%と高い割合で漁獲されました（図2）。次いで6年魚（2014年級）が10%の割合で漁獲されました。

例年、1月に5年魚以上の高齢魚主体の組成で始まり、2月には4年魚主体、3月には若齢の3年魚主体の組成に推移するという来遊パターンに対し、今期は漁期を通して5年魚と4年魚主体となりましたが、漁期が進むにつれ4年魚の割合が高くなりました。

2019年度の漁獲物の平均体重は、2～3年魚が少なかったことに加えて、5年魚の割合が高かったことにより335gと前年度（294g）よりも重くなりました（図3）。

## 3. 漁期について（図4）

後志および石狩沿岸では、今漁期は例年に比べ

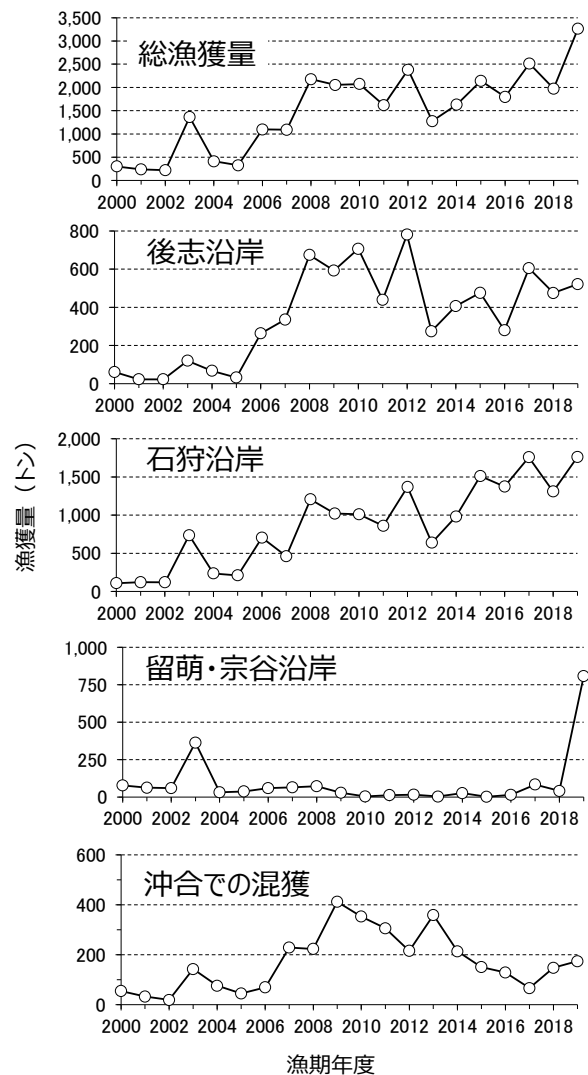


図1 漁獲量の推移

※漁期年度：5/1～翌4/30（実質的には10～3月の漁獲量が大半を占める）

てやや遅く、1月下旬～2月上旬になってまとまった漁獲がみられるようになりました。2月に入ってから漁獲は本格化し、3月になっても例年より多い漁獲が続きました（図4）。資源管理の観点から石狩沿岸の石狩地区では3月9日、同じく厚田地区では3月15日をもって漁期を早期に切り上げるなどの取り組みがなされました。

また、3月26、27日に実施した漁期後調査では、メスのほとんどは完熟卵を持っていたことから、漁期終了後にも産卵来遊が続いていたと考えられます。

留萌沿岸では、今漁期は3月中旬から漁獲が急増し、4月中旬にピークを迎えた後、4月下旬には若干減少しました（前述の通り、石狩湾系かどうかは分析中）。

#### 4. 漁海況について（図5）

今漁期の沿岸水温をみると、厚田漁港では1月は4℃を上回る日もありましたが、2℃を下回る低水温の日が多くみられました。また、小樽築港では、1月上旬～中旬まで例年を1℃前後下回る3℃台（1月10日を除く）で推移しました（図5）。これらの低水温が、1月のニシンの来遊に影響を与えた可能性があります。また、2019年9～10月の北洋丸によるトロール調査で採集されたニシン雌の卵巣が例年に比べ小さい（生殖腺重量指数が低い）ことが分かっており、そのため卵の成熟が遅れ、沿岸域への来遊が遅くなった可能性もあります。

#### 5. 資源状態と来漁期の見通しについて

昨漁期まで漁獲物の主体となっていた豊度の高い2014年級は今漁期には6年魚となって漁獲尾数は少なくなりましたが、5年魚（2015年級）と4年魚（2016年級）が多く、漁獲物の大半を構成しました。この2つの年級も豊度が高く、来漁期の序盤に漁獲物の主体として来遊すると考えられます。また、後志・石狩沿岸では3年魚（2017年級）の漁獲は伸びませんでした。3月26、27日に実施した漁期後調査では多く採集されました。2年魚（2018年級）については、漁期後調査でようやくその姿を見ることができましたが、まだ、豊度を推し量ることが難しい状況です。しかし、これら2017、2018年級は0歳時に稚魚分布調査で多く採集されています。また、2017年級は2019年9～10月の北洋丸によるトロール調査でも多く採集されたことから、これら年級の豊度も期待できると考えられます。来シーズンの来遊に関する詳細は、10月に留萌沖で実施する北洋丸によるトロール調査の情報をふまえて判断していきたいと思えます。

現状の高水準の漁獲を維持するためには、2.0寸目規制と漁期の早期切り上げによる2、3年魚の取り残しと産卵促進が重要と考えられますので、今後も同様の資源管理を継続していただくようお願いいたします。

－お問い合わせ－  
中央水試 資源管理部  
主任主査 三原栄次  
TEL 0135-23-8707

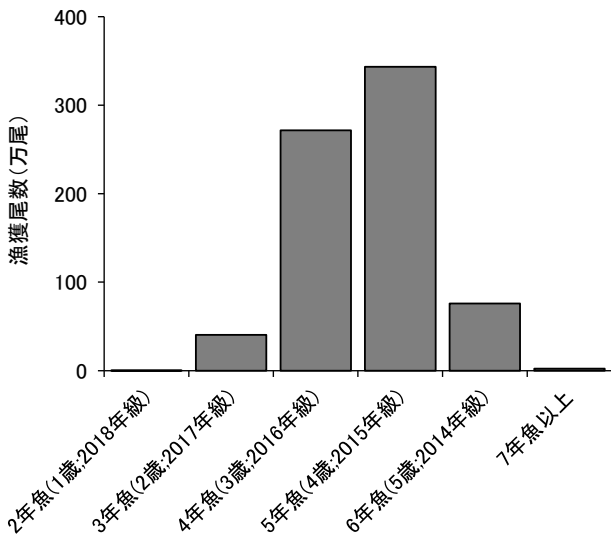


図2 2019年度漁獲物の年齢組成  
(後志・石狩)

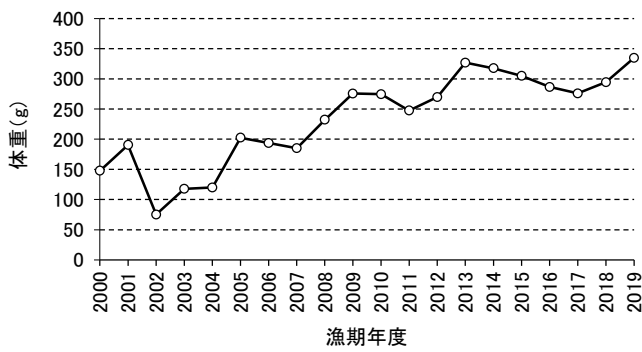


図3 漁獲物の平均体重の推移

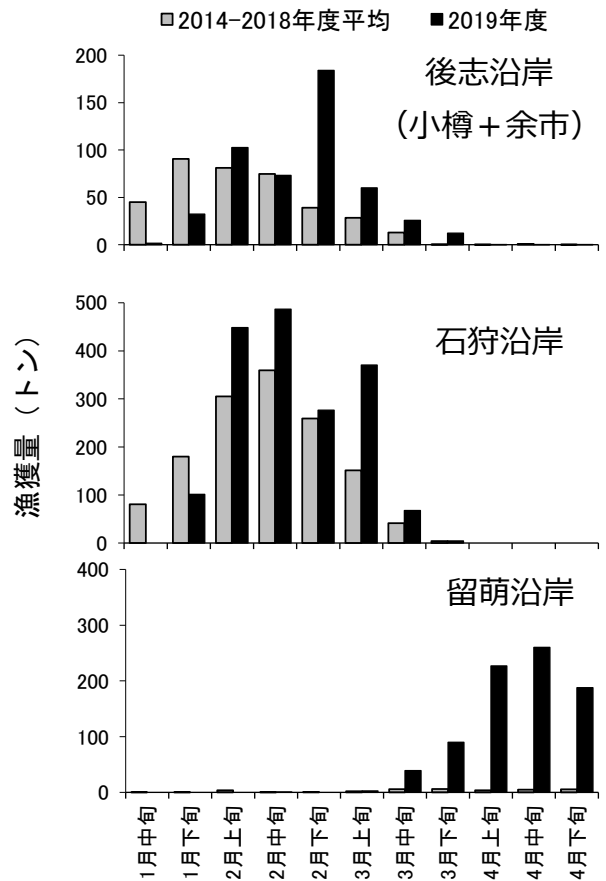


図4 石狩沿岸および留萌沿岸における時期別漁獲量

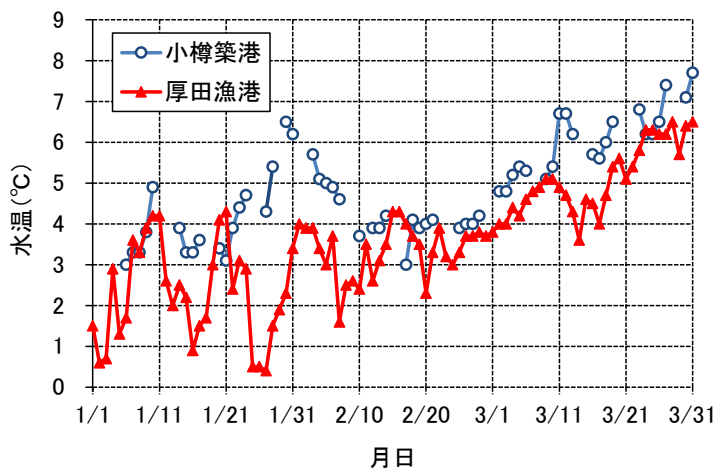


図5 2020年1～3月における小樽築港と厚田漁港の水温推移

※水温データは北海道栽培漁業振興公社および石狩地区水産技術普及指導所提供資料